



【語句説明】

- ※1 CTL (Cytotoxic T Lymphocyte) …細胞傷害性T細胞。リンパ球のうちのT細胞の一種。細胞表面のT細胞受容体を通じて、樹状細胞等の抗原提示細胞から提示された異物を特異的に認識し、その異物を表面上に提示しているウイルス感染細胞やがん細胞を認識し、殺傷することができます。以前はキラーT細胞とも呼ばれていました。
  
- ※2 特許査定…各国特許庁の審査によって「出願に記載された発明が特許権を得るに値する発明である」と判断された場合に示される審査結果です。特許査定後に特許料を納付することにより、該当する国において特許権が登録され、権利が発生します。
  
- ※3 HLA (Human Leukocyte Antigen) …ヒト白血球抗原。体のほぼ全ての細胞表面で発現がみられる、免疫機構において重要なタンパク質です。HLAは、自己と非自己(他)を区別する「自他認識のマーカ―」であり、非常に多様な「他(た)」を自己と区別するために、多様な型があります。ペプチドはHLAの特定の型に結合し、型が合わない場合は結合しません。

ブライトパス・バイオ株式会社について

手術、放射線療法、化学療法に次ぐ、がんの「第4の治療法」としてがん治療の革新をもたらしつつある「がん免疫療法」の開発を行う創薬ベンチャーです。国内と米国で臨床試験を実施中のがんペプチドワクチンをもつほか、抗原特異的T細胞をiPS化し再生させる新たなT細胞療法、また世界的に新規性の高いアプローチであるネオアンチゲン（腫瘍特異的遺伝子変異抗原）に関わる新薬を開発しています。2017年7月1日に、「株式会社グリーンペプチド」から「ブライトパス・バイオ株式会社」に社名を変更しました。